

認知症を理解しよう シリーズ3

今回は認知症の症状についてのお話です。

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状を「中核症状」とよびます。記憶障害、見当識障害、理解・判断力低下、実行機能低下などがあります。

症状 1.記憶障害

脳はたくさんの情報を一時的に蓄えたり、長時間保存するように出来ていますが、脳の一部の細胞が壊され、はたらきを失うと覚えられない、すぐ忘れるといった記憶障害が起こります。

認知症になると〔覚えられない〕ことが多くなり、進行すると〔覚えていたことを忘れる〕など昔の記憶や大事な情報も消えていってしまいます。

加齢によるもの忘れと認知症の記憶障害との違い

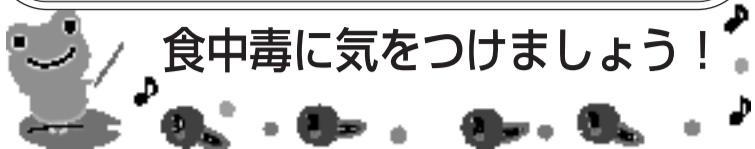
加齢によるもの忘れ

- 経験したことが部分的に思いだせない
- 目の前の人の名前が思い出せない
- 物の置き場所を思い出せないことがある
- 何を食べたか思い出せない
- 約束をうっかり忘れてしまった
- 物覚えが悪くなつたように感じる
- 曜日や日付を間違えることがある

認知症の記憶障害

- 経験したこと全体を忘れている
- 目の前の人が誰なのか分からぬ
- 置き忘れ・紛失が頻繁になる
- 食べたこと自体を忘れている
- 約束したこと自体を忘れている
- 数分前の記憶が残らない
- 月や季節を間違えることがある

診療所からのお知らせ



【食中毒とは】

食中毒の原因となる細菌やウイルスが付着した食品や、有毒・有害な物質が含まれた食品を食べることによって腹痛・下痢などの健康被害が起こることです。

【食中毒予防の3原則】

① 手を洗う！



つけない

② 低温で保存する！



細菌の多くは10°C以下では増殖がゆっくりになり-15°C以下では増殖は停止します。
増やさない

③ しっかり加熱する！



目安は、中心の温度が75°Cで1分以上加熱することです
やっつける

ふれあい診療所では運転手さんを募集しています！

8:30~13:00まで（送迎予約状況による） 時給1000円

①水、木、金 ②木、金 左記の①②を隔週で勤務
お問合せ ふれあい診療所(TEL976-4334) 清原まで

振動障害・じん肺の労災無料電話相談

【振動障害】

長い間の削岩機やピック、グラインダーなどの振動工具の使用による次のような症状は振動障害の代表的な症状です。

◆手指の冷え、しびれ、痛み、こわばり ◆寒いとき、指が白くなる ◆握力がなくなり、湯飲みなどを落とすことがある。

【じん肺】

トンネルや造船業などの粉じんの多い現場で働いていたみなさん、次のような症状はじん肺の代表的な症状です。

◆朝起きたときに咳や痰が出る ◆咳がなかなか止まらない

◆痰がのどにからんでむせる ◆階段を上ると息切れがする
お仕事が原因で振動障害やじん肺になった場合、退職後でも労災補償が受けられます。お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】：全日本建設交運一般労働組合（建交労）広島労災職業病支部 （※平日11時～16時、土日祝日は休み）

住所 〒730-0853 広島市中区堺町1-2-9-303

電話 082-235-3050 担当 梶岡 寛之

福山医療生協 第35回通常総代会

・6月27日(土)13:30～ ・ビッグローズ研修室

映画「日本と原発」鑑賞券好評発売中

● 6月17日(水)1回目10:15～ 2回目13:00～

● RiM(リム)ふくやま7階(元そごう・ロツツ)

◆おとな500円◆小・中・高・大生300円(支部・診療所で)

6月・7月は班づくり月間、教育学習月間

詳しくは7月号でお知らせします。